

# 平成29年度 公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団事業計画

## I 基本方針

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団は、鎌倉地域の芸術文化の向上と振興、創造的な芸術文化活動の育成支援、国内外の優れた芸術文化の紹介を使命として運営しています。

平成29年度は前年度に引き続き、鎌倉文学館、楠木清方記念美術館の二つの文化施設の指定管理の着実な運営と集客力の向上、鎌倉市芸術文化振興財団自主事業の充実を目指します。

また、鎌倉芸術祭や伝統芸能観賞会などを始めとする財団独自の事業を、自主公演、実行委員会形式、共催形式など様々な方法で、市内の文化施設や社寺教会を中心に、市民や市内各団体とも協同、連携しながら実施していきます。

財団職員の資質の向上、専門性の強化を引き続き進めるとともに、組織の効率的な運営、安定した財務基盤に向けた取り組みを行います。

さらに鎌倉市がおこなう芸術文化事業の一翼を担うための役割分担についても市とともにさらに検討し、鎌倉にふさわしい芸術文化の向上と振興を目指します。

## II 事業内容（概要）

### 1 本部 総務課

#### (1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業及び市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

鎌倉芸術館、鎌倉生涯学習センターを中心に、鎌倉市内すべてを芸術文化活動の場ととらえ、新たな事業の創出に向かって、本年度は、次のような事業等を試みていきます。

事業内容	開催予定時期等	場所	備考
映画鑑賞会（鎌倉名画座）	9月予定	学習センター ホール	映画解説とともに
音楽鑑賞会	5月	学習センター ホール	ピアノ・弦楽
伝統芸能鑑賞会	2月	鎌倉芸術館 小ホール	落語公演
鎌倉俳句&ハイク	通年	市内各所	投句の募集・選考・ 表彰・年間大賞表彰式
第12回鎌倉芸術祭の運営	9月～11月	社寺教会、その 他	鎌倉芸術祭実行委員会 との連携・協力

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

## 2 鎌倉文学館

### (1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

#### ① 展示事業

鎌倉文学館の所蔵品をはじめとし、広く鎌倉ゆかりの文学者と文学を紹介するため、常設展と特別展及び収蔵品展を実施します。常設展は鎌倉ゆかりの文学を紹介します。特別展は、春は生誕 150 年を迎える夏目漱石の後半生を、手紙を中心に紹介、夏は児童文学作家の岡田淳さんの協力により子ども向けの展覧会を開催します。秋は、作家が好きであったり影響を受けた作品や作家を紹介します。収蔵品展は、随筆や小説など作家の目を通した鎌倉の魅力を紹介します。

常設展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
<常設展> 「鎌倉ゆかりの文学」 ※年 4 回展示替え	4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 ※特別展・収蔵品展と同時開催	
特集展示 生誕 110 年「中原中也」	春	
特集展示 没後 50 年「吉野秀雄」	夏	
特集展示 生誕 110 年「高見順」	秋	
特集展示 生誕 150 年「芳賀矢一」/ 全国文学館協議会共同展示「文学と天災地変」	冬	
ミニ展示「鎌倉を舞台にした作品」 ※年 4 回展示替え	4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 304 日

特別展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
※28 年度からの継続事業 <収蔵品展> 「作家と歩く鎌倉 その 1 雪ノ下・浄明寺方面」	4 月 1 日～4 月 16 日 (開館日数 14 日)	300 円
<特別展> 生誕 150 年記念 「漱石からの手紙、漱石への手紙」 (仮)	4 月 22 日～7 月 9 日 (開館日数 75 日)	400 円
<特別展> 子どもたちへ、未来へシリーズ 7 「岡田淳の世界」 (仮)	7 月 15 日～9 月 18 日 (開館日数 59 日)	300 円
<特別展> 「リスペクト～好き好き大好き」 (仮)	10 月 1 日～12 月 10 日 (開館日数 68 日)	400 円
<収蔵品展> 「作家と歩く鎌倉 その 2」 (仮)	12 月 16 日～平成 30 年 3 月 31 日 (開館日数 88 日)	300 円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 304 日

## (2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等について情報および資料を収集します。資料に関しては「鎌倉文学館資料整理基準」に基づき、適切な維持管理を行います。鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等の調査および研究を行い、調査および研究の成果を図録等の刊行物として作製し市民に公開します。

- ① ゆかりの文学に関する調査研究の業務
- ② ゆかりの文学資料の収集
- ③ 所蔵資料のレプリカの製作
- ④ 図録等の作製及び頒布
- ⑤ 鑑賞動機や意向等のアンケートの実施
- ⑥ 収蔵管理システム
- ⑦ 収蔵資料の点検

## (3) 芸術文化の振興に関する情報収集及び提供事業

鎌倉ゆかりの文学の情報を収集し、ホームページ等で提供します。また、収集した情報と調査研究事業の成果とあわせて、レファレンス業務に反映させていきます。

- ① 鎌倉を舞台にした文学作品の情報収集
- ② 文学に関するレファレンス業務

## (4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

市民が文学について理解を深め、親しみを感じられるよう、より普及事業に力を入れていきます。これまで取り組んできた文学講演会、文学講座、文学散歩などは、内容を充実させます。そして、古典講座、展示解説、資料解説講座、資料調査講座、自作を語る、朗読ワークショップなどを実施します。子ども向けの事業として子ども参加プログラムや、やってみよう文学館のお仕事を開催。さらに第6回こども文学賞を開催し、全国の小中学生から詩を募集します。

事業名	開催時期等	料金等	備考
文学講演会	春・秋	無料	特別展に関連し、展覧会監修者やご遺族による講演会。
文学講座	春・秋	無料	文学について理解を深めるための専門家等による講座。
文学散歩	5月 11月 3月	無料	文学者、文学作品、文学碑などの文学遺跡を地域ごとに、文学館職員の解説で市内を散策する。

事業名	開催時期等	料金等	備考
文学スタンプラリー	秋	無料	文学館をゴールに市内の文学ゆかりの施設をめぐるスタンプラリー。
子ども参加プログラム	夏	無料	親子や子どもを対象としたワークショップ等を実施。
古典講座	6月, 3月	無料	要望が多い古典文学の講座を実施。
やってみよう文学館のお仕事(子ども向け)	夏	無料	自分だけの小さな展覧会を作る、学芸員体験ワークショップ。
展示解説	毎週土日祝日	無料	展示資料や建物について職員が解説。
資料解説講座	7月, 12月	無料	館収蔵資料について調査研究し、資料の背景や魅力を解説。
自作を語る	2回	無料	作家に自作を語っていただく。
学芸員実習	8月	有料	博物館学芸員資格履修者のため実習をおこなう。
インターンシップ	適宜	無料	中学生、高校生に向け職業体験をおこなう。
第6回こども文学賞	秋		小中学生から詩を募集。
朗読ワークショップ	秋(2回)	無料	作品への理解を深めた後、プロの指導のもと朗読を学ぶワークショップ。
資料調査講座	秋	無料	館収蔵資料について、学芸員の調査を疑似体験する講座。

#### ・他館との連携

夏の特別展の期間中に神奈川近代文学館、町田市民文学館ことばらんどと連携し、子どもたち向けに「夏の文学館スタンプラリー」を実施します。

#### (5) 文化施設の管理運営事業

ホームページ、Facebook、twitterによりタイムリーな情報発信を図ります。また地域のメディア、施設へ積極的に情報提供を行うなど地域と触れあう地道なPR活動により、知名度の底上げを図ります。広報宣伝活動の一環として、春と秋のバラ園の開花と、クリスマス、バレンタインの時期にあわせてイベントを行います。また、江ノ島電鉄と連携し、江ノフェス参加を予定します。さらに2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、英語版のパンフレットに続き、他の言語の作製に取り組みます。また、ホームページのスマートフォン表示や英語表記に対応するため、リニューアルに取り組む予定です。

- ① 鎌倉文学館の利用に関すること
  - ア. 鎌倉文学館の利用の承認等に関する業務
  - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
  - ウ. 鎌倉文学館への来館促進及び広報宣伝に関する業務
  - エ. 施設案内業務
  - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鎌倉文学館の施設管理に関すること
  - ア. 施設管理運営業務
  - イ. 施設清掃業務
  - ウ. 保安警備業務
  - エ. 庭園維持管理業務
  - オ. 備品管理業務
- ③ 鎌倉文学館の資料に関すること
  - ア. 鎌倉文学館資料の維持管理業務

#### (6) 収益事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、鎌倉文学館オリジナルのミュージアムグッズ販売、一般書籍などの受託販売、他施設への企画提供、飲料自動販売機設置など、収益事業を行います。

### 3 鍋木清方記念美術館

#### (1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

鍋木清方の作品を多くの方々に紹介するため、これまでに蓄積された調査結果と研究成果に基づき、特別展と企画展を実施します。

特別展は、他館や個人コレクターが所蔵する自然美あふれる美人画、市井の暮らしや風物などが描かれた鍋木清方の名品とともに、自伝的随筆に記した明治末から大正にかけての清方のあゆみや画壇の動向、世相についても紹介します。

企画展では、挿絵画家から日本画家に転身した清方が、明治から昭和の文学者との関わりから受けた画業への影響をテーマにした展示のほか、自然の風景や季節の植物に興味を感じて描いた作品を紹介するなど、多角的な視点で捉えて実施します。

#### 当館展示事業

展覧会名	開催予定期間等	入場料
※28年度からの継続事業 ＜企画展＞つつましく、そして艶やかに －清方ゑがく女性－	4月1日～4月16日 (開館日数14日) (2月24日から 開館日数45日)	200円
＜特別展＞ 鍋木清方没後45年 女性美と自然美 －神奈川とのゆかり－	4月20日～5月24日 (開館日数31日)	300円
＜特別展＞ 『續こしかたの記』刊行50周年記念 名品でたどる、清方のあゆみ	5月27日～7月2日 (開館日数31日)	300円
＜企画展＞ 清方の描いた 夏のけしき	7月7日～8月27日 (開館日数45日)	200円
＜企画展＞ 手元で愛でる、卓上芸術 －秋の情趣とともに－	9月2日～10月25日 (開館日数46日)	200円
＜特別展＞ 清方 江戸東京の美しき面影	10月28日～12月3日 (開館日数31日)	300円
＜企画展＞ 清方と祝う正月	12月8日～平成30年1月14日 (開館日数28日)	200円
＜企画展＞ 鍋木清方 幻想と文学 －明治・大正の文学者とのかかわり－	1月19日～2月25日 (開館日数33日)	200円
＜企画展＞ 清方、人物を描く －四季を彩る花々とともに－	3月2日～3月31日 (開館日数26日) (4月15日まで 開館日数39日)	200円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数計 285日

出張展示

高松市美術館 特別展 没後 45 年 鏑木清方展 (仮)	9 月 9 日～10 月 15 日	1,000 円 (予定)
---------------------------------	-------------------	-----------------

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鏑木清方の随筆『續こしかたの記』の後半について解説し、昭和の日本画壇の動向や、同時期の清方の画業について調査の上、叢書図録にまとめます。

また、平成 30 年度の開館 20 周年に向けて記念誌および記念図録を発行します。

事業名	内容
叢書 20 「『續こしかたの記』を読む (二)」	『續こしかたの記』の後半を読み解き、清方が述懐した昭和の画壇を中心に調査し、叢書として刊行します。
開館 20 周年記念誌 鎌倉市鏑木清方記念美術館 活動の記録	平成 24 年度以降の活動の記録と紀要を収録します。
開館 20 周年記念図録(仮題)	平成 24 年から 28 年までに特別展で展示した作品を中心に収録します。

(※ 事業名および内容等は変更することがあります)

資料の公開の促進や良好な保存を行うために作品・下絵の修復事業にも力を入れ、市民の理解と共感を得られるように入場者の鑑賞意向調査等以下の事業を行います。

- ① 鏑木清方に関する専門的な調査研究
- ② 鏑木清方関係資料の収集
- ③ 鏑木清方の作品・下絵等の修復・整理
- ④ 鏑木清方図録の作製及び頒布
- ⑤ 展示鑑賞動機や意向等のアンケートの実施

(3) 芸術文化の振興に関する情報の収集及び提供事業

鎌倉市鏑木清方記念美術館と鏑木清方の情報を発信し、来館のきっかけを作ります。また、より多くの媒体に取り上げられるよう、広報宣伝にも力をいれます。

事業名	開催予定時期	備考
鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー	4 月～3 月	川喜多映画記念館、神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館との連携事業
鎌倉の小さな美術館へ ようこそ!	夏季	北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業
清方・蓬春 連携企画	冬季	山口蓬春記念館との連携事業

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

前記の他、次の事業を行います。

- ① 広報宣伝（ホームページやツイッター・フェイスブックの活用、案内パンフレット配布）
- ② 企画協力、資料貸し出し協力

#### （４）市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

前年度に引き続き、講演会や講座、子ども向けプログラム、展示解説を行うほか、高校生のインターンシップ、大学院生のインターン募集を行い、美術館の業務推進を図るとともに、将来美術館業務に携わる世代の育成支援を行います。また、作品検索システムをより充実させます。

事業名	開催予定時期	受講料等
美術講演会（２回）	特別展開催時（６・１１月）	５００円
展示解説	毎月の第２・第４土曜日、団体は随時	無料
講座タイプの解説	４月	無料
日本画材を使ったワークショップ	５月・６月・７月・９月・１０月・１１月	未定
日本画を描くデモンストレーション	５月・１０月	無料
夏休み親子参加プログラム、春・夏休み子ども参加プログラム（各１回）	春休み・夏休み期間中（４月・７～８月）	未定
春休み・夏休み親子鑑賞	春休み・夏休み期間中（４月・７～８月・３月）	子ども・同伴者無料
学芸員実習	８月	１０,８００円
インターンシップ（中・高校生）	随時	無料
インターン（大学生・院生）	随時	無料

（※ 事業名および時期等は変更することがあります）

#### （５）文化施設の管理運営事業

鏑木清方記念美術館の施設管理、運営を行います。

- ① 鏑木清方記念美術館の利用に関すること
  - ア. 鏑木清方記念美術館の利用の承認等に関する業務
  - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
  - ウ. 鏑木清方記念美術館への来館促進に関する業務
  - エ. 施設案内業務
  - オ. 入館者の安全に関する業務

② 鏑木清方記念美術館の施設管理に関すること

- ア. 施設管理運営業務
- イ. 施設清掃業務
- ウ. 保安警備業務
- エ. 庭園維持管理業務
- オ. 備品管理業務

③ 鏑木清方作品等に関すること

- ア. 鏑木美術作品等の維持管理業務

(6) 収益事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、美術館オリジナルのミュージアムグッズ販売、一般書籍などの受託販売、他施設への企画提供、広告等協賛など収益事業を行います。